

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：柏木君夫、岡元正史

6月の定例会。

新型コロナウイルスのため、残念ながら6月も「おとこの台所」は中止となりました。早く桜新町の「台所」が再開できますよう、楽しく料理ができることを祈っています。

夏山のシーズン、到来！

毎年、6月第1週の日曜日には、長野県の松本市・上高地で「ウェストン祭」が行なわれます。イギリス人の宣教師、ウォルター・ウェストンは、著書「日本アルプスの登山と冒険」（1896年刊）で日本の美しい山々を日本だけでなく、ヨーロッパに紹介しました。



上高地の地名の由来は諸説があるそうですが、神が降る地（神降地）という説が、神秘で好きです。

「ウェストン祭」、今年も行われますが、新型コロナ・ウイルスのために、残念ながら、一般の登山者は参加することができません。初めて3,000m超えの穂高連山で感動したのは40年以上、前のことです。

ごろごろの涸沢のテントの石の上に寝て、背中の痛んで、ほとんど眠れずに、快晴の北穂高岳に登って、木製デッキから見た、尾根を越えて槍岳までの稜線の美しさは目に残っています。

そして「穂高山荘」に泊まりました。本当に一番の驚きは、ビールの自動販売機が置かれていたことです。今でも憶えています。缶ビール1本が500円でした。翌朝、晴天の青空の中、ヘリコプターで次のビールが運ばれて来ました。それにも驚きました。

深田久弥の「日本百名山」の3分の2に登りました。

山メシは、最高に美味しい！

山メシ。なんで、あんなに美味いんでしょうか。

一番は、空腹が、美食を呼ぶんでしょうね。

山メシといえば、昔の山人は、「アルファ米」と。インスタントの「即席ラーメン」が、山人の定番でした。

それに抵抗して、我々は、贅沢に3,000mの立山で「すき焼き」をやっていました。

野菜は下ごしらえをして、それを事前にプラスチックの袋に入れて、牛肉は冷蔵して、山上でちょうど肉が溶けて、生卵とすき焼きです。

そのほかにも、ステーキだったり。シャブシャブであったりと、いろいろやりました。

夜11時半過ぎの、新宿発で松本行きの登山の深夜列車が、懐かしいです。

朝、松本駅に到着して、顔を洗って、日経新聞を買って。

それから山へ。